



電子部品産業一世紀を祝う会

JEITA電子部品部会の加盟企業が、本年を皮切りに、今後順次、創業100周年を迎えられます。

JEITA電子部品部会では、電子部品産業が日本に立ち上がり100年が経った現在、あらゆる産業の進化を支える電子部品が、日本の基幹産業のひとつとして発展してきたこれまでの歩みを振り返り、今後も電子部品産業がさらに発展することを祈念して、「電子部品産業一世紀を祝う会」を10月7日(月)に八芳園「白鳳館」にて、電子部品部会関係者等80名にご出席いただき開催しました。



JEITA電子部品部会 部会長 中島 規巨 氏
株式会社村田製作所 代表取締役社長

開宴は、電子部品部会 中島 規巨 部会長(株式会社村田製作所 代表取締役社長)のご挨拶から始まり、ご来賓の経済産業省 商務情報政策局 情報産業課長 金指 壽氏よりご祝辞をいただきました。



田村 直樹 氏
株式会社タムラ製作所
エグゼクティブアドバイザー



向山 孝一 氏
KOA株式会社 取締役会長

つづいて、創業100周年を記念して、タムラ製作所の田村 直樹 氏(株式会社タムラ製作所 エグゼクティブアドバイザー)へ花束が贈呈され、ご挨拶をいただいた後に、本会の発起人メンバーの紹介があり、発起人代表の向山 孝一 氏(KOA株式会社 取締役会長)の発声により、乾杯が行われました。



歓談時には、JEITA 津賀 一宏 会長(パナソニック ホールディングス株式会社 取締役会長)からの祝電が披露され、一世紀を振り返るスライドショーを上映しました。

一世紀を振り返るスライドショーは、「日本のエレクトロニクスを隆盛へと先導した電子部品発展の100年のあゆみ(1924年-2024年)」として、社会の出来事、電気通信業界、電子部品業界、業界活動のトピックスを取り纏めた内容です。

電子部品業界のトピックスとしては、1924年にタムラ製作所(田村ラヂオ商会)が設立されたことから、現在に至るまでの電子部品メーカーの製品開発などの歴史を取り纏めています。



片岡 政隆 氏
アルプスアルパイン株式会社
名誉顧問



澤部 肇 氏
元 TDK株式会社 会長



村田 恒夫 氏
株式会社村田製作所
相談役



八幡 滋行 氏
スミダコーポレーション株式会社
取締役会議長



古橋 健士 氏
ホシデン株式会社
代表取締役社長



井上 治
JEITA 業務監査室長

懇談後、発起人メンバーであり、これまで電子部品部の活動に貢献された方々として、片岡 政隆 氏(アルプスアルパイン株式会社 名誉顧問)、澤部 肇 氏(元TDK株式会社 会長)、村田 恒夫 氏(株式会社村田製作所 相談役)、八幡 滋行 氏(スミダコーポレーション株式会社 取締役会議長)、JEITA 井上 治 業務監査室長(元電子部品部長)から振り返りのご挨拶をいただきました。



池田 靖光 氏
SMK株式会社 代表取締役社長



JEITA電子部品部会 副部会長
泉 英男 氏
アルプスアルパイン株式会社 代表取締役社長

また、現在も電子部品部会で活躍されている現委員より、発起人メンバーの古橋 健士 氏(ホシデン株式会社 代表取締役社長)、来年、創業100周年を迎えられるSMKの池田 靖光 氏(SMK株式会社 代表取締役社長)からご挨拶をいただいた後、締めくくりとして、電子部品部会 泉 英男 副部会長(アルプスアルパイン株式会社 代表取締役社長)が中締めを行い、盛況のうちに終了しました。

記事掲載

■日本経済新聞10月7日(月) 本紙朝刊(全10段)

電子部品、日本勢の出荷額が過去最高 100年で内製磨く

■日本経済新聞10月8日(火) 電子版

電子部品100年、村田製社長「日本の基幹産業の一つ」

資料：電子部品部会加盟

電子部品メーカー創業年一覧

1924年創業	タムラ製作所
1925年	SMK
1931年	日本ケミコン
1932年	本多通信工業
1932年	浜井電球工業
1933年	オムロン
1935年	TDK
1937年	ヒロセ電機
1938年	双信電機
1940年	KOA
1941年	大同電気工業
1943年	北陸電気工業
1944年	村田製作所
1944年	帝国通信工業
1947年	ホシデン
1948年	アルプスアルパイン
1948年	スミダコーポレーション
1949年	新電元工業
1950年	太陽誘電
1950年	ニチコン
1950年	FDK
1952年	ルビコン
1953年	日本航空電子工業
1954年	ローム
1954年	マブチモーター
1957年	東京コスモス電機
1958年	ワカ製作所
1959年	京セラ
1969年	コーセル